



第60回 高萩市成人式

期待を胸に 大人への門出

高萩市の成人式が1月12日、文化会館で開催されました。新成人のみなさんは、華やかな振袖や羽織袴、真新しいスーツに身を包み出席。

大人への門出の祝福を受け、支えてもらった多くの人に感謝しながら、決意を新たに社会人としての第一歩を踏み出しました。



新成人を代表して答辞を述べた坂本峻輔さん

また、新成人を代表して、高萩中学校卒業の坂本峻輔さんが「晴れて成人の日を迎えることができたのは、今まで私達を支えてくださった皆様のおかげです。これからは成人として、そして社会人としての確固たる自覚を持ち、より一層の努力を重ねたい」と誓いの言葉を述べました。

この日、大人の仲間入りをした新成人は、平成5年4月2日から平成6年4月1日生まれの291人(男性153人・女性138人)。うち218人が出席しました。式典の前には、会場の内外で思い出話や近況を報告し合うなど、懐かしい友人との再会を喜ぶ姿や、晴れの日を迎え記念撮影する姿で賑わっていました。式典には、小中学校の恩師や多くの関係者が参列。草間市長が「皆さんは、成人としての権利を認められるとともに、その責任も果たさなければいけません。輝かしい門出を祝福します。夢を持ち、夢を実現するために努力してください」とエールを送りました。



司会を務めた小田木勇さん(左)と大西わかばさん(右)



今年の新成人が生まれた年の出来事 1993～1994

1993年

- 4月 「納菜の儀」皇太子浩宮徳仁さまと雅子さまが婚約(12日)
- 5月 「Jリーグ」が開幕(15日)
- 6月 「結婚の儀」パレードに19万人の人出(9日)
- 7月 北海道南西沖でM7.8の地震が発生(12日)
- 8月 細川護熙内閣が始まる。土井たか子氏が初の女性衆議院議長に(6日)
- 9月 記録的な冷夏による米の不作。翌年にかけて深刻な米不足
- 10月 「ドーハの悲劇」W杯のアジア最終予選。ロシアの失点でW杯出場を逃す(28日)

- 11月 ヤクルトが日本シリーズで西武を下し15年ぶり2度目の日本一(1日)
- 12月 元首相の田中角栄氏が死去(16日)

1994年

- 1月 郵便料金値上げ。はがきが41円から50円に、封書が62円から80円に
- 2月 リレハンメル冬季五輪で日本は金1・銀2・銅2のメダルを獲得(12日～)
- 3月 ネッシーの証拠とされてきた写真がトリック写真だったと英国の新聞が報道



1 150人が威勢よく海へ 神輿渡御

高萩の元旦の風物詩となっている「神輿渡御」が高萩海岸で行われました。約150人の男女が神輿を担いだまま海中に入り、寒さの中、掛け声を上げながら平成26年の健康と安全を祈願しました。今年は主催の「濱会」創立20周年を記念し、例年より1基多い3基の神輿が登場。



荒波の押し寄せる海岸を練り歩き、訪れた多くの観客から拍手が送られていました。

1 7 新年の発展を誓う 賀詞交歓会



市主催の「賀詞交歓会」が総合福祉センターで開かれ、市内の企業や団体の代表者など約300人が、

新年を祝うとともに、高萩市の飛躍を誓い合いました。草間市長は「昨年は震災からの復旧がほぼ完了し、新しいまちづくりにまい進した1年であった」と振り返り「今年は市制施行60周年。あらたなスタートの年とし、大きく飛躍する年にしたい」と挨拶しました。またアトラクションでは松ヶ丘保育園児たちが太鼓の演奏を披露。子どもたちの元気な演奏に会場は和やかな雰囲気になりました。



元気よく太鼓を披露する松ヶ丘保育園の園児たち

会場で会った新成人のみなさん

希望にみち溢れる新成人のみなさんに20歳を迎えての夢や目標などを語っていただきました。



松本美奈子さん

現在、専門学校でファッションビジネスの勉強をしています。将来はアパレル関係の仕事に就きたいと思っています。



村山ちづるさん

子どもの頃からの夢である看護師を目指して、看護大学に通っています。



梶井大幹さん(写真右)

現在、学生です。将来の夢は決まっていますが、人の役に立てる仕事に就きたいです。

薄井航さん(写真左)

今日は、小中学校時代の友人と久しぶりに会えてうれしかったです。人とのつながりを大切に生きていきたいです。



成人式実行委員会が活躍



今年の成人式では、23人の新成人で組織された実行委員会が、式典・アトラクションの企画運営に当たりました。また、高萩市高校生会のみなさんなどが当日スタッフとして活躍し、新成人の門出を祝いました。



11 防火への決意 高萩市消防出初式



高萩市の消防出初め式が、高浜運動広場で行われ、消防署員や消防団員など約350人が参加し、防災への思いを確認しました。

消防ポンプ操法では秋山北方地区を担当する第5分団と中戸川を担当する第21分団が実演し、日頃の訓練の成果を披露しました。また、今年も市内の保育園児や小学生が参加し、鼓笛隊の演奏やよさこいソーランが披露されました。

12 秋山地区で鳥追いまつり復活

五穀豊穡や無病息災を願う小正月の伝統行事、「鳥追いまつり」が秋山山手地区の田んぼで行われました。同地区での鳥追いまつりは、長年途絶えていましたが、子どもたちに伝統文化を継承しようと、地域の有志が数十年ぶりに企画しました。竹で組み上げた高さ約6メートルの小屋の周りには、各家庭から持ち寄られたしめ縄や松飾りなど正月用品が並べられ、夕暮れ時に火が付けられました。参加者は燃え上がる様子を静かに見守りながら1年の健康などを祈りました。また、子どもたちには、豚汁や甘酒などが振る舞われ、おいしそうに頬張っていました。(今月の表紙)

15 茨城 GG 片岡安祐美さんを迎え 笑顔の教室

茨城ゴールデンゴールズ監督兼選手の片岡安祐美さんを講師に迎えた「スポーツ笑顔の教室」が高萩小学校で開かれ、5年生67人が参加しました。同教室は被災地支援を目的に、日本体育協会などが展開している「スポーツこころのプロジェクト」の一環。児童たちは、体育館で片岡さんと鬼ごっこなどをして体や気持ちをほぐした後、教室に移動。講義では



片岡さんが野球を始めた理由や夢を持つことのすばらしさ、夢に向かって努力することの大切さを訴え、児童たちは熱心に聞き入っていました。

10 園児たちが 手作りひな人形の飾り付け



下手綱にある「水方苑付属保育園」と「はぎの杜愛育園」の園児たちが、手作りひな人形の飾り付けを楽しみました。このひな人形は2月18日から市民センターや穂積家住宅で行われる「第6回手作りひな人形まつり」に展示するもの。子どもたちは、花びらに見立てた自分の手形を、手作り和紙で作った衣の一つずつ丁寧に貼り付けていきました。完成後は衣をまとった人形を囲んでひな祭りの歌を歌い、一足早い桃の節句を楽しみました。

第6回 手作りひな人形まつり

- とき 2月18日(火)～3月3日(月)
午前10時～午後4時
- 会場 桃の館：高萩市民センター
桜の館：穂積家住宅 ほか
- 展示作品 手作りひな人形とひな祭りや春に関する作品を展示します。作品は、布や和紙などさまざまな素材で作られ、公募して集まったものです。
- 体験教室 会期中に“ひな飾り教室”(参加費600円)を開催します。2月20日(木)・21日(金)・24日(月)・25日(火)の午前10時～12時。各回先着25人。会場はNPO里山事務所(高萩市本町3-135)
- 問合せ NPO法人里山文化ネットワーク
☎ 22-3650

